

ひだかしんきん 地区内経済概況



* * * * *

目 次

* * * * *

業種別総括		30年2月
概 況		1
漁業・水産加工業		2
農業・軽種馬生産業		3
建設業		3
木材・製材業		4
卸・小売業・観光		4
倒産・雇用状況		5
そ の 他		5
指 標		6～7
ト ピ ッ ク		8
インフォメーション		9

《業 種 別 総 括》

概 況

30 年 2 月

〔漁 業〕

- ・ 2月の総水揚げは、漁獲量、漁獲金額ともに前年を下回った。漁獲量では、底曳き網、タラ・スケソウ漁が大幅に減少している。漁獲金額では、昆布が増加、タラ・スケソウ漁は漁獲量で大幅に減少するも、魚価の高騰で前年並みとなった。他の魚種は減少している。悪天候や時化の日が多く、出漁日数も少なかったことが影響している。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 2月5、6日の低気圧の影響で日高管内は大雪に見舞われ、新冠・新ひだか・みついし3農協では、ビニールハウス等が倒壊するなど大きな被害が発生した。報道発表による2月16日現在の3農協の被害額は、総額約14億6,000万円となっている。
- ・ 今年度の北海道市場の日程が決まった。トレーニングセール(2歳)5月22日、セクションセール(1歳)7月17日、サマープレミアムセール(1歳・サマーセール初日開催の名称を変更)8月20日、サマーセール(1歳)8月21日～24日、オータムセール(1歳)10月1日～3日。

〔建設業〕

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)の月中発注額は1,100万円で前年を300万円下回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額)は1億2,600万円で前年を6億1,600万円下回った。
- ・ 月中建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は、4件で前年実績を2件上回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

- ・ キャベツやハクサイなどの野菜の高値傾向が、3月いっぱいも続く見通しとなっている。1月以降、低温の影響で野菜の生育が遅れており、出荷量が減っているため。農林水産省が28日発表した主な野菜の価格動向(2月19～21日、全国平均)によると、1^{キロ・グラム}当たりの小売価格は、キャベツとハクサイが平年の2.4倍、ダイコンは2.1倍、レタスは1.8倍で、昨年末から高値で推移している。
- ・ 新ひだか町J R静内駅近くにオープンした飲食店街「とねっこ屋台村」で営業している唯一の焼き肉店が経営者の体調不良などのため1月末で休業した。運営する北海交通は、地域のにぎわい創出のためにも和食店の元経営者や居酒屋の経営者らに出店を促している。

〔観光・その他〕

- ・ 日高管内観光連盟は、日高管内の魅力を広く発信する冊子型観光パンフレット「北海道日高広域観光ガイド」(A4判16頁)を5万部発行した。観光ガイドは道内外の観光スポット、道内の道の駅、新千歳空港、帯広空港周辺のレンタカー会社、管内コンビニなどに置いている。

〔雇 用〕

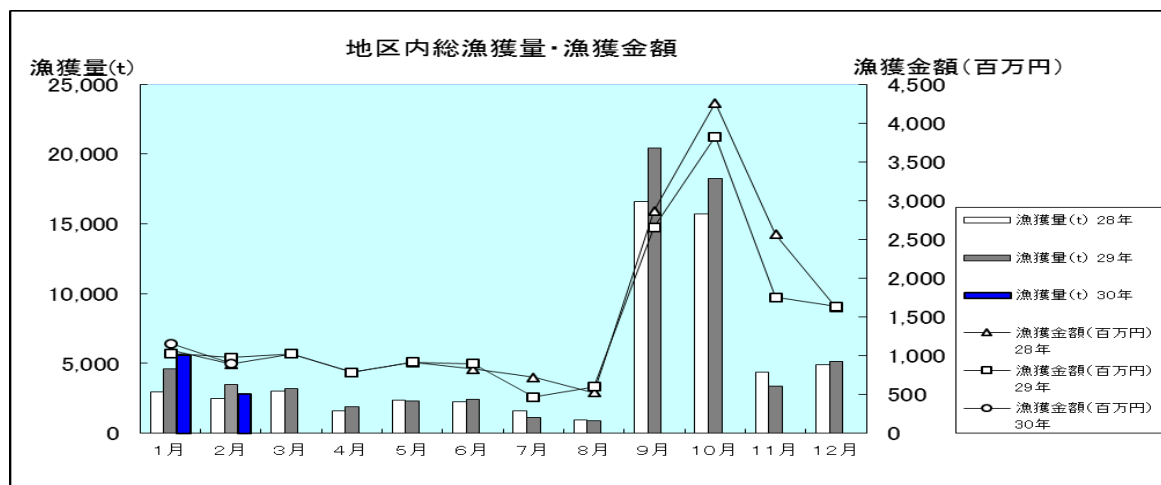
- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は前年に比べ、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

〔総 括〕

- ・ 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証金額)は前年を6億1,600万円下回り、町発注工事も前年を300万円下回っている。前月比では、国・道発注工事は増加し、町発注工事は減少している。漁業は、漁獲量、漁獲金額ともに前年比減少。タラ・スケソウ漁で漁獲量が大幅に減少するも、漁獲金額は魚価の高騰もあり前年と同水準の水揚げ金額となっている。一方、野菜類、ガソリン等の高騰が続いており、個人消費は節約思考、買い控えが強まり、個人消費も縮小傾向で、地区内景況は総体的に横ばいからやや下降の状況となっている。

漁業・水産加工業

【沿岸漁業】 カレイ、タコ、ツブ漁等。【沖合い漁業】 カニ、底曳き、タラ・スケソウ漁等。
 総漁獲量 2,810^ト・金額9億400万円（前年同月比692^ト減・7,100万円減）



カレイ漁	43 t	・ 23 百万円	(同	31 t減	・ 25 百万円減)
タコ漁	242 t	・ 166 百万円	(同	18 t減	・ 17 百万円増)
ツブ漁	73 t	・ 59 百万円	(同	49 t減	・ 26 百万円減)
底曳き網漁	1,034 t	・ 108 百万円	(同	478 t減	・ 66 百万円減)
ウニ漁	13 t	・ 24 百万円	(同	4 t減	・ 増減なし)
毛ガニ漁	15 t	・ 57 百万円	(同	11 t減	・ 36 百万円減)
ホッキ漁	22 t	・ 9 百万円	(同	増減なし	・ 1 百万円増)
タラ・スケソウ漁	1,005 t	・ 100 百万円	(同	203 t減	・ 増減なし)
昆布	211 t	・ 323 百万円	(同	18 t減	・ 59 百万円増)
メヌケ漁	3 t	・ 3 百万円	(同	3 t増	・ 3 百万円増)
その他	149 t	・ 32 百万円	(同	117 t増	・ 2 百万円増)

- ・2月の総水揚げは、漁獲量は前年を692^ト下回り、漁獲金額も前年を7,100万円下回った。漁獲量は、底曳き網、タラ・スケソウ漁が大幅に減少。漁獲金額は、昆布、タコ漁が増加しているが、他魚種は減少している。タラ・スケソウ漁は魚価が高騰し水揚げ減少するも、前年と同額の漁獲金額となっている。悪天候や時化が続く、出漁日数が少なくなったことが要因となっている。
- ・道内で昆布の生産量が低迷している。道によると2017年の生産量は20年前のほぼ半分の1万5千^ト(速報値)だった。漁業者の高齢化に加え、人手不足で作業に携わるアルバイトを確保しづらくなっていることが背景となっている。資源は潤沢にあるものの、十分に採りきれないケースも出ている。えりも町で20年以上昆布漁を営む漁業者は、30年ほど前は親戚や大学生ら7人を雇い、多いときには年15^トを生産していたという。最近は思うようにアルバイトが集まらず、ようやく確保した3～4人で年2^ト程度の生産になっているという。
- ・漁船やプレジャーボートなど小型船舶乗船者のライフジャケット着用が、2月から原則的に義務となった。乗船者にジャケットを着用させていない場合、船長は処分の対象に。国土交通省によると、着用推進に取り組んできたものの、着用率は3割前後と低く、小型船舶操縦者法に基づく省令を昨年改正、2月1日から施行した。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・平成30年度のホッカイドウ競馬は4月18日に開幕し、11月8日まで80日間(15開催)の日程を組んだ。70周年を迎える今年度は、好調な売上を背景にほぼすべてのクラスで1着賞金を増額。ダートグレードの北海道2歳優駿は2,500万円に、ブリーダーズGCは3,100万円に増額、道営記念も500万円増の1,500万円で行われる予定。9つの重賞競走は1着賞金250万円～500万円で行われ、14競走が予定されている上級認定競走は同200万円に。新馬戦に相当するフレッシュチャレンジ競走は55競走が150万円で、未勝利戦に相当するアタックチャレンジ競走は80万円で35競走が予定されている。

〔農 業〕

- ・日高地方は2月5、6日の両日、低気圧の影響で記録的な大雪に見舞われ、新冠、新ひだか両町で農業用ビニールハウスが倒壊するなど大きな被害が発生した。16日現在の被害状況は、しずない農協でミニトマト用ハウスなど35戸235棟と倉庫など7戸11棟の約9億5千万円(被害額は作付困難に伴う青果物・生産物損失額を含む)、みついし農協は花き用ハウスなど48戸165棟と倉庫など9戸10棟の約1億9千万円、新冠町農協はピーマン用ハウスなど25戸140棟の約3億2千万円となっている。16日には高橋はるみ知事が大きな被害を受けた静内東別のミニトマト用ビニールハウスを視察。新ひだか、新冠両町からハウスなどの撤去や設置に係る支援を求める要望書が手渡された。高橋知事は、視察先で撤去や再建にかかる費用について「前例をしっかりと見極めながら農水省とも情報交換し、われわれとして出来る最善のことをしていきたい」と話した。

〔花き栽培〕

- ・2月の花き出荷実績は、3万本、金額322万円(前年2万6千本、242万円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額は、1億2,600万円(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)。前年同月比6億1,600万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	2	0	0	2	11	0	0	11	1
浦 河 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
様 似 町	0	0	0	0	0	0	0	0	2
え り も 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広 尾 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	2	0	0	2	11	0	0	11	4

- ・町発注工事(新ひだか～広尾地区)は、件数2件、金額1,100万円(前年同月8件、1億1,400万円)。工事発注状況を見ると、前年同月比件数で6件下回り、金額は1億300万円下回った。
- ・月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は4件で、前年を2件上回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が727ト(前年664ト)で前年比9.5%の増加。
出荷金額は1,268万円(同1,149万円)で前年比10.4%増加。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・野菜類は、本州産主体で全体的に価格は高値で推移し、葉物野菜の高騰が目立っている。特にキャベツ、白菜、キュウリなどが高値で推移している。果物では、みかんが高値となっている。

〔小売業・飲食業〕

- ・新ひだか町静内中心部の繁華街にある「みゆき通り商店街」で事業規模の縮小や店舗閉鎖が止まらない。経営者の高齢化が進む一方で後継者がいない店も多く、若い世代への事業継承が進んでいない。商店街を運営する「協同組合静内みゆき通り商店街」は町商工会と連携し、商店街活性化を狙ったセミナーを開催するなど対策に乗り出している。同組合は商工会に協力を求め、12月に空き店舗対策を考えるセミナーを初めて開いた。空き店舗を活用して新規出店の誘致に結びつけたいとしている。
- ・優れた道産食材を選ぶ道の「北のハイグレード食品S(セレクション)」に新ひだか町静内の料理店「あま屋」のタコまぶしめしとパウンドケーキ、百合根ジャムの三つが選ばれた。道内の逸品が毎年選定されている「北のハイグレード食品S」に同じ事業者から一度に3品も出たのは初めて。本年度は道内各地から101品の応募があり、計22品が認定された。日高管内からは他にも、「特選ホワイトクローバー蜜」(太田養蜂場、新ひだか町)、「黒毛農家が作った和牛丼」(まつもと牧場、同町)も選ばれた。

〔観光・その他〕

- ・4月21日の日高自動車道「日高厚賀IC」の開通に向け、管内7町で構成する優駿日高道!!オールひだか魅力発信協議会は16、17日の両日、札幌駅前地下歩道空間(チカホ)で、札幌圏をターゲットに、厚賀IC開通で「優駿日高道」の延伸をPRし、日高への集客をはかるイベント「オールひだか魅力いっぱい観光物産展」を開催した。約130点の各町特産品販売やステージイベントで「ひだかが、グリーンと近くなる」とアピール。2日間の来場者は8,736人、台湾や中国からの観光客も多く立ち寄り、特産品を買い求めていた。
- ・地域に根ざし、未来を切り開く活動をしている人たちをたたえる2018年の「道新 地域元気大賞」に、東胆振・日高地方から、えりも高校のまちおこし同好会「風極プロジェクト」が選ばれた。同好会は町の魅力を広く発信しようと14年に発足。活動の中心は、襟裳岬の観光施設「風の館」に1日限定でオープンする「高校生カフェ」。訪れる観光客に特産品を使った軽食を販売している。このほか、町内のイベントに出店したり、平取町の祭りで販売したりと、積極的に活動している。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月0件)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、2件(前年同月1件)、負債総額は3億6,300万円(同1,200万円)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は19件(前年同月26件)、負債総額は30億9,200万円(同43億1,900万円)、倒産件数は前月と同数、前年比7件の減少となった。
(東京商工リサーチ)

〔全国倒産〕

- 全国の倒産件数は617件(前年同月688件)、負債総額は899億7,900万円(同1,158億3,400万円)。
倒産件数は前月比18件減少、前年比で71件減少した。

〔雇 用〕

- 2月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.80倍で前年比0.18ポイント、前月比0.10ポイントそれぞれ増加した。有効求人数は1,273人で前年比73人、前月比84人それぞれ増加した。有効求職者数は709人で前年比33人減少、前月比では11人増加した。全道の月間有効求人倍率は1.16倍で前年比0.10ポイント増加し、前月と同率となった。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

2/4	第58回 きさらぎ賞 サトノフェイバー 号	(新冠町 フジワラファーム 殿生産)	(GⅢ)
2/11	第111回 京 都 記 念 クリンチャー 号	(新冠町 平山牧場 殿生産)	(GⅡ)
2/17	第53回 京都牝馬ステークス ミスパンテール 号	(日高町 三城牧場 殿生産)	(GⅢ)
2/25	第92回 中 山 記 念 ウインブライト 号	(新冠町 コスモビューファーム 殿生産)	(GⅡ)
2/25	第62回 阪 急 杯 ダイアナヘイロー 号	(浦河町 大西ファーム 殿生産)	(GⅢ)

土木3官庁17年度12月末 地域別発注額

地 域	発注額(億)	前年実績比	地 域	発注額(億)	前年実績比
石狩・空知	991	4.8%増	宗 谷	162	2.8%減
渡島・檜山	411	14.3%増	オホーツク	444	16.6%増
後 志	223	21.2%増	胆振・日高	690	52.6%増
上 川	518	6.5%増	十 勝	610	90.0%増
留 萌	144	12.2%増	釧路・根室	422	5.8%増

道内土木3官庁(振興局の林務・水産含む)の2017年度12月末の地域別発注額が北海道建設新聞の集計でまとまった。発注総額は16年度実績比20.7%増の4,616億円。地域別では石狩・空知が4.8%増の991億円と最多で、胆振・日高が52.6%増の690億円、十勝が90.0%増の610億円と続いた。一昨年の台風被害を受けて災害復旧工事が増加した地域が好調に伸びている。宗谷を除く9地域が前年度実績を上回り、特に台風災害関連の復旧工事が本格化した十勝と胆振・日高の伸びが目立っている。胆振・日高に至ってはダムや高規格道路、災害復旧工事が全体を押し上げた。

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《主旨 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (平成30年2月現在)

(単位：人)

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	5,162	-103	-12	2,574	-25	-7
日 高 町	12,164	-221	-31	6,245	-53	-10
新 冠 町	5,590	-78	4	2,735	-5	1
新ひだか町	22,957	-401	-34	11,729	-74	-6
浦 河 町	12,608	-184	5	6,773	21	13
様 似 町	4,400	-134	-16	2,218	-27	-5
え り も 町	4,831	-90	-8	2,151	-15	3
日高地区合計	67,712	-1,211	-92	34,425	-178	-11
広 尾 町	6,991	-166	-17	3,400	-40	-13
大 樹 町	5,650	-64	11	2,705	39	8
日高・十勝地区合計	80,353	-1,441	-98	40,530	-179	-16
札 幌 市	1,962,570	4,580	-417	943,785	10,559	-163
江 別 市	119,019	-138	-2	56,602	520	-6
石 狩 市	58,514	-397	7	27,420	39	12
北 広 島 市	58,750	-355	-40	27,303	187	0
恵 庭 市	69,535	341	-29	32,833	505	-6
千 歳 市	96,726	440	-64	48,547	677	-51
石狩地区合計	2,365,114	4,471	-545	1,136,490	12,487	-214
苫 小 牧 市	172,151	-847	-85	87,684	415	-3
厚 真 町	4,662	-2	-5	2,154	15	-7
む か わ 町	8,351	-161	-17	4,266	-24	-11
胆振地区合計	185,164	-1,010	-107	94,104	406	-21
営業区域合計	2,630,631	2,020	-750	1,271,124	12,714	-251

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

(資料出所：各市町村)

2 労働需給状況(平成30年2月)

(単位：人、%)

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月 間 有 効 求 人 数	1,273	90,441	73	2,986	84	3,783
月 間 有 効 求 職 者 数	709	77,910	-33	-4,617	11	3,116
月 間 有 効 求 人 倍 率	1.80	1.16	0.18	0.10	0.10	0.00

(資料出所：浦河公共職業安定所)

3 建築確認申請(平成30年2月)

(単位：件)

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	4	2	2
(新ひだか町～広尾町)	29/4～30/2 累計	99	6	

(資料出所：各市町村)

4 企業倒産状況(平成30年2月)

(単位: 件、千万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	2	36	1	35		
うち新冠町～えりも町	0	0	0	0		
北 海 道	19	309	-7	-123		
全 国	617	8,998	-71	-2,585		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(平成30年2月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
135,416	3.66	1.36	51,784	-1.15	1.36

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	30年2月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	246	-7.52	-22.88
交換金額	267	-9.80	-34.07
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

2月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	-3.1	45.5	131.5	-0.7	186.5	81.0	
広 尾	-4.4	57.0	151.4	-0.1	107.3	94.4	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(平成30年2月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町 静内	96,986	-0.8	43,945	-6.7	140,931	-2.7
新ひだか町 三石	16,518	-0.6	9,502	-4.4	26,020	-2.0
浦 河 町	56,069	-2.7	24,267	-3.9	80,336	-3.1
様 似 町	24,979	1.8	14,477	38.0	39,456	12.7
え り も 町	24,188	-1.5	11,383	11.2	35,571	2.3
広 尾 町	34,087	-3.5	14,031	-4.1	48,118	-3.7

* 広尾町は29年11月分

(資料出所: 各町)



優駿日高道!! オールひだか魅力発信キャンペーンの取組について

「優駿日高道!! オールひだか魅力発信協議会」では、日高自動車道の日高厚賀 IC 開通 (H30. 4. 21 予定) を契機として、交流人口を拡大し、地域の活性化につなげるため、官民 37 団体で地域の情報発信・魅力発信に取り組んでいます。

○ 情報発信

- ◆「優駿日高道!! オールひだか魅力発信キャンペーンシンボルマーク」選定

平成 29 年 7 月 19 日

- ◆特設ホームページの開設

キャンペーンの一環として特設ホームページを開設し、IC 開通による利便性向上や各町の観光イベント、特産品などの情報発信を行っています。

優駿日高道!! オールひだか魅力いっぱい

キャンペーンホームページ

(URL:<http://all-hidaka.info/>)



○ 各種キャンペーン

- ◆「ハイウェイ Show Area」 (有珠山 SA 及び 輪厚 PA)

平成 29 年 6 月 24 日～25 日に有珠山 SA、同年 7 月 15 日～16 日には輪厚 PA で、「北海道ハイウェイ Show Area」におけるブース出展を行いました。このイベントでは、ひだか地域の観光や日高厚賀 IC 開通について PR を行ったほか、クイズ大会なども行い、サービスエリアを利用する大勢のドライバーに日高厚賀 IC 開通予定を PR しました。

- ◆THE サッポロビアガーデンステージ (札幌市大通公園)

平成 29 年 7 月 27 日～8 月 9 日

- ◆「北海道のうまいもの見～つけた!」 (アリオ札幌)

平成 29 年 11 月 1 日～6 日

- ◆オールひだか魅力いっぱい観光物産展 (札幌駅前地下歩行空間)

平成 30 年 2 月 16 日～17 日

※詳細はひだかしんきん地区内経済概況 2018 年 2 月号に掲載



○ 問い合わせ先

北海道日高振興局馬産地対策・観光推進室 電話: 0146-22-9073

インフォメーション

※「東日本大震災」の義援金の取扱が延長されました！

- ◎ 取扱期間 : 平成31年3月29日(金)まで
- ◎ 寄付先 : 日本赤十字社を通じて被災者の方々に配分されます。
- ◎ 手数料 : 無料
- ◎ 受取書 : 受取書の必要な方は後日、日本赤十字社から直接ご依頼人に送付されます。

※ 浦河町内で住宅新築・リフォームをお考えの方へお知らせ。

住宅ローン『特別優遇金利』取扱開始！！

●子育て世帯の「住宅新築・リフォーム」を特別優遇金利で応援します！

●通常の優遇金利とは別に0.10%の特別優遇

●特別優遇金利適用対象者

「浦河町住宅新築・リフォーム等支援補助金」の交付対象者の方に、特別優遇金利で支援します。

※ただし、子育て世帯に該当する場合の補助金交付対象世帯とします。

●特別優遇金利の適用期間

《住宅ローン》

固定金利特約型を選択の場合、選択した固定金利特約期間(3年・5年・10年のいずれか)の間とします。

《リフォーム・無担保住宅ローン・フリーローン》

選択した返済期間の間とします。

※ 別途、保証会社(一般社団法人しんきん保証基金)へお支払する保証料が必要となります。

※ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ 日高自動車道「日高厚賀IC」4月21日供用開始！！

●日高自動車道日高門別IC～日高厚賀IC間(14.2*_{km})が4月21日
午後4時から供用開始

●日高がグ～ンと近くなる！！

札幌南ICから日高厚賀ICまで 約70分



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本 店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺 町 支 店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静 内 支 店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三 石 支 店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様 似 支 店	〒058-0014 様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広 尾 支 店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札 幌 支 店	〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 三井生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8 : 45 ~ 18 : 00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店 : 本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

日曜・祝日 ATM 稼働店 : 本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 16 : 00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 18 : 00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>